

施策調査専門委員会の検討状況について

【 第51回施策調査専門委員会（R2. 4. 30） 】

- <議題>
- 1 中間評価報告書の作成について
 - 2 次期（第4期）実行5か年計画に関する意見書の作成について
 - 3 衛星画像を用いたアオコの評価手法について
 - 4 令和2年度の委員会開催スケジュールの変更等について

<主な意見（要旨）>

【 議題 1 】 中間評価報告書の作成について

- 県民会議委員への2度の意見照会をもとに、図の一部の修正（表記の統一や注の追記など）を行った。
- これまで議論を重ねてきた中間評価報告書全体のエグゼクティブサマリーとして第1部から第4部までの内容を見開きページにまとめ、目次の前に挿入した。
- 河川モニタリング調査の内容に令和元年度に酒匂川で実施した調査結果を追記したことを環境科学センター長谷部主任研究員より説明した。令和元年度は冬季にも多様性指数の調査を実施したが、10月の台風の影響により大きな攪乱を受けたため、夏季のみの評価データを掲載している。冬季の調査結果は示さないものの、調査を行った旨の追記をすることとした。
- 県の水源環境保全税と国の森林環境譲与税のすみ分け図は、色により水源環境保全税と森林環境譲与税のどちらの対象となるかを示すために作成したものである。表し方にわかりにくさがあったと考えられるため、すみ分け図を修正した。
- 令和元年に発生した台風19号についても事例を当初コラム形式で記載していたが、状況報告の形式に修正を行った。

【 議題 2 】 次期（第4期）実行5か年計画に関する意見書の作成について

- かながわ水源環境保全・再生施策大綱に関して、「現時点において、基本的な考え方などの変更はないものと考えますが、今後の状況によっては、必要な細部の見直しを行うこともあり得ると認識しています。」という記載については、大綱の修正を求めるものではないが、将来の選択肢を限定する必要はないと考え、原案のとおりとする。

【 議題 3 】 衛星画像を用いたアオコの評価手法について

- 新しい手法にて調査を行うにあたり環境科学センター長谷部主任研究員より説明を行った。
- これまではポイントでの調査となっていたが、衛星画像を用いることにより面的に状況を確認することができると考え、令和元年度に試行調査を行い、令和2年度から本調査を行うこととなった。

【 議題 4 】 令和2年度の委員会開催スケジュール等について

- 事務局より令和2年度の委員会開催スケジュール（変更案）を説明し、意見交換を行った。